

## 授業概要

わが国において新産業の創出や産業の活性化の担い手として近年ベンチャー企業が注目されるようになっていっています。その理由としては、これまで日本の経済発展の原動力となってきた企業や産業が現状の変化しかし、戦後の日本経済の発展を振り返ってみると、その担い手はベンチャー企業と呼びうる企業が、その中核にあったことがわかります。その当時はベンチャー企業という呼称がなかっただけです。たとえば、ソニー、パナソニック、ホンダをはじめ現代では大企業となっている企業も歴史的に見ればベンチャー企業といえます。そこで授業では、そのような日本のベンチャー企業だけではなく、グーグル、アマゾン、アリババといった海外のベンチャー企業も取り上げて、ベンチャー企業の特徴やその役割を学んでゆきます。

## 授業計画

第1回	講義のねらいと進め方(ベンチャー企業と現代経済)	
第2回	ベンチャー企業とは何か?定義とその歴史	
第3回	ベンチャー企業と中小企業の違い	
第4回	ベンチャー企業の種類	
第5回	ベンチャー企業と起業家	
第6回	成功する起業家の特徴	
第7回	ベンチャー企業の成長マネジメント 発展段階とその特徴	
第8回	楽天(三木谷浩史)	
第9回	ソフトバンク(孫正義)	
第10回	京セラ(稲盛和夫)	
第11回	セブンイレブン(鈴木敏文)	
第12回	アマゾン(ジェフ・ベゾス)	
第13回	アリババ(ジャック・マー)	
第14回	グーグル(ラリー・ページ、セルゲイ・ブリン、エリック・シュミット)	
第15回	ベンチャー企業と21世紀	
第16回	定期試験	

## 到達目標

今後のわが国の経済・産業活性化の担い手となるベンチャー企業の特徴と意義についての理解を基本的理論およびさまざまな事例の研究を通じて身につけること

## 履修上の注意

経営権略、マーケティング、消費者行動、マネジメント、経営史などの領域にも関連する内容となります。受講者の主体的な学習が不可欠です。必要に応じてDVDやビデオなども使います。授業では補足説明のために板書をしますので、ノートと筆記用具は必ず持ってきてください。

## 予習復習

テキストに沿って毎回進めてゆきますので、指定された章を必ず読んで、授業に出席してください。また小テストの対策・準備というためにも、学習した内容をまとめ、理解するようにしてください。

## 評価方法

小テスト、レポートおよび定期テストなどによる総合評価

## テキスト

宮本又郎編『日本をつくった起業家』新書館 (予定 変更あり)